

ナショナルバイオリソースプロジェクト実験動物メダカ  
平成17年度 第1回研究運営委員会議事録

日時：平成17年5月19日(木)13時30分～17時

場所：理化学研究所東京事務所 中会議室

出席者：長濱嘉孝(議長)、石川裕二、岡本 仁、工藤 明、近藤寿人、酒泉 満、柴田直樹、堀 寛、三谷啓志、山崎由紀子、若松佑子、

オブザーバー：荒木和男、木下政人、田中 実、成瀬 清、安増茂樹

事務局：橋本寿史

欠席者：井口泰泉、武田洋幸、(以下オブザーバー)古賀章彦

本日の議事について

長濱嘉孝

前回の議事録が承認された。議事内容の確認と議論の進め方が確認された。

議事

1. NBRP メダカとこれまでの経緯について

NBRP メダカ事業とこれまでの経緯について若松委員から説明があった。

2. メダカバイオリソースの将来構想(案)の説明

武田委員が中心となって、近藤委員、石川委員、酒泉委員の協力もとに作成されたメダカバイオリソースの将来構想(案)について、成瀬オブザーバーにより説明された(武田委員欠席のため)。

3. メダカ遺伝資源小委員会規則について

三谷委員より、メダカ遺伝資源小委員会規則(案)について説明があり、一部を改訂することになった。なお、今後メダカバイオリソースの将来構想はメダカ遺伝資源小委員会の場で話し合うこととした。

4. 国際研究集会の内容の検討

若松委員より、平成17年11月14-16日に予定されている「メダカ生物遺伝資源の標準化に関する研究集会」の概要について説明があった。

ポスター発表の機会を設けること、近縁種をテーマに独立に1セッション設けることなどが提案、了承された。近縁種のセッションは酒泉委員が検討することになった。

5. 系統の定義と表示法について

すでに石川委員より提案された系統の定義と表示法で、若松委員から近交系の定義について再検討の必要性が示唆され、石川委員、酒泉委員を中心に全体的に再検討することにした。

6. ニュースレターの発行について

堀委員より、年2回程度 NBRP メダカのニュースレターを発行することの提案があった。

今年度は堀委員と工藤委員で編集することになった。

なお、言語は日本語とし、費用は NBRP で負担することにした。

7. メダカバイオリソースの将来構想(案)の検討

今回、新たにこの会議に出席されたオブザーバーの感想を聞きながら、メダカバイオリソースの将来のあり方について意見が交わされた。メダカバイオリソースの将来構想(案)が基本的に了承された。

8. その他、報告

次回(平成17年度第2回)の会議を夏休み中に開催することにした。

山崎委員より、メダカデータベース、組織アトラスの Web サイト構築の進捗状況の報告があった。